



GOGO 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821
FAX0985(38)5028

今年度第2回 ユースエール認定

株式会社イーテック・株式会社都城北諸地区清掃公社・都城新生病院



都城新生病院の安田事務長(左)と前田都職安所長(右)

11月26日、平成30年度第2回目となるユースエール認定書交付式が宮崎合同庁舎で行われました。今回認定企業となったのは、株式

※ユースエールとは若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を認定する制度
右から都城北諸地区清掃公社丸田主任、同社松島総務部長、言田労働局長、イーテック津曲代表取締役、同社山口氏、山下職業安定部長

過労死等防止対策推進シンポジウム



宮崎県内などの過労死等の現状を説明する岡本労働基準部長

企業も働く人も笑顔に

「過労死等防止啓発月間」中の11月20日、宮崎労働局は宮崎市で「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました。岡本労働基準部長は過労死等の労災認定状況を踏まえ、過労死等の防止には「労働時間の削減や職場のパワハラ対策の充実が有効です」と訴え、過労死等防止に向けた取組への理解ご協力をお願いしました。

また、都城新生病院については、翌27日に都城合同庁舎において前田都城公共職業安定所長より認定書が交付されました。

ぎょうざの丸岡

ベストプラクティス企業訪問 業務を効率化して長時間労働を削減



宮崎県産業安全衛生大会 安全な職場づくりを

11月8日、「平成30年度宮崎県産業安全衛生大会」が開催され、吉田局長は労働災害が増加している厳しい現状を踏まえて挨拶しました。中村健康安全課長は、「身近な用具である脚立からの墜落災害が多数発生して死亡事故にもつながっています」と現状を説明し、適正な用具の使用と安全作業の徹底が重要であると訴えました。

講演する中村健康安全課長



11月6日、吉田労働局長は「過重労働解消キャンペーン期間」の取組の一環として、長時間労働削減に積極的に取り組んでいる都城市の「有限会社ぎょうざの丸岡」を訪問しました。

同社では長時間労働の削減対策として、労働時間の把握管理を社員全員ICカードにより1分単位で計測し給与計算ソフトとも連動させて省力化（業務量1/3に減）、繁忙時期に派遣労働者を計画的に活用し時間外労働を削減、受発注システム導入により該当部署の時間外労働を導入前の1/4程度まで削減等を行っています。さ



説明を聞く言田労働局長(中央)

らに同社では年休取得向上、労働災害防止や健康管理にも積極的に取り組み、より働きやすい労働環境の形成を目指しています。

宮崎労働局HPにも訪問の概要を掲載しますので時間外労働削減の参考にして下さい。

高校生の就職を応援

ハローワークプラザ宮崎で就職面談会を開く



企業ブースで熱心に説明を聞く高校生



会社のPRを画像や機材を使った
持ち込みでの説明が行われた

各企業から参加生徒に対し、
企業魅力発信のためのプレゼンを実施しました。

参加した生徒からは企業のプレゼン
を聞いて、「働きやすそうな環境である
ことがわかりました」「一緒に働く
スタッフの方の顔が

11月5、6日、ハローワーク宮崎と宮崎市共催による高校生等に対する就職面談会をハローワークプラザ宮崎にて開催しました。宮崎県内の企業23社、県内高校118校、71名の生徒が参加しました。

将来の宮崎を担う若い人材の積極的な採用を計画している企業と、地元で就職することを希望している高校生等の出会いの場として企画されたものです。

今回は、面談会開始前に、若者の県外流出問題への対策として、

働き方改革法を説明



講演する谷宮補佐・均等室の

10月30日、宮崎労働局は宮崎県社会保険労務士会の研修会において、「働き方改革関連法」の内容と法改正に沿った労務管理の手法等に関する説明を行いました。研修には120名の社会保険労務士の方々が参加され、熱心に聞き入られました。

見え働くイメージができました」といった声をいただきました。

宮大生労働法を学ぶ



宮崎大学において、連合宮崎が主催する「雇用・労働リテラシー講座」として11月1日に吉田局長が、8日には山下職業安定部長とハローワーク宮崎の松山ジョブサポーターが講義をしました。2回の講座で延べ約120人の学生が参加しました。

また、11月13日には労働法制を学ぶ学生30人に対し、吉田局長を始め雇用環境・均等室から谷宮補佐と赤木主任の2名の労働基準監督官が、労働関係法令の他、職場におけるトラブル相談事例や監督官の仕事などを講義しました。学生には熱心に聴いていただきました。



講演する山下部長（右）と松山サポーター（左）



女性監督官の処遇等について説明する赤木主任

延岡 介護就職デイ面談会開く

採用担当者とは面談する求職者



11月11日の介護の日を中心とした前後2週間を「福祉人材確保重点実施期間」とし、厚生労働省、関係団体等が連携して啓発活動等を実施することとしています。

11月14日、ハローワーク延岡にて、「介護就職デイ・面談会」を開催しました。当日は介護関係事業所4社に対し、求職者7名が参加。採用担当者と一緒に詳しい条件等を確認することができました。



企業トップへ働きかけ

～働き方改革～

エクシース・ジャパン

11月14日、株式会社エクシースジャパンを訪問。徳澤副社長から働き方改革に関する取組等をお伺いしました。同社

徳澤副社長（左）に要請する吉田局長



は化粧品や健康食品の卸販売の事業を全国展開されています。

本年7月から育児と仕事の両立支援策として、一部の地域でテレワークを導入。その際、業務の見直しやモバイル端末の導入、セキュリティの強化などの対応を行ったとのことでした。また、時間外労働も少なく、有給休暇の取得率においては高水準にあるとのことをお話を伺いました。

多様な働き方が求められる中、吉田労働局長は引き続き積極的な取組をお願いしました。